

この頃から、レコードを制作者側の気持ちで 聴く耳も培われたように思います。

1976年春、ヤマハ音楽振興会の特待生に選ばれて、合歓の郷へ行きました。小倉駅から名古屋、名古屋から合歓の郷の最寄り駅「賢島(かしこじま)」、駅から合歓の郷へは車で。峠道の新緑を眺めながら「これからはいちばん好きな事だけを考えて過ごせるんだなあ」と澄んだ空気を胸いっぱい吸い込むと、何とも言えない穏やかな気持ちになりました。到着した合歓の郷は、見渡す限り美しい風景でした。現在は経営が変わり一般のリゾート施設になっていますが、当時はヤマハが経営する「ミュージックキャンパス合歓の郷」の名の通り、音楽のためだけの夢のような場所。広大な敷地にはホテル、レコーディングスタジオ、ホール、ライブスペース、資料室、芝生にゆったりと点在するコテージ風の練習スタジオ、キャンパーズホテルという合宿所、アーチェリー等のアクティビティもあり敷地内はカートで移動しました。大きな野外ステージでは、ポップコンの第6回目までが開催され、またジャズの巨匠達によ

るフェスも開催されていました。私はキャンパーズホテルの4人部屋を一人で使う事になり、着替えだけを詰めた小さなバッグをベッドの上にポンと置いて腰掛けました。所持金は僅か、身体ひとつで来たことへの不安は一切無く、窓からの景色があまりにも美しい別世界なので、新しく生まれ変わったみたい感覚でした。ホテルの部屋は清潔・簡素な造りで豪華な雰囲気はありませんが、建物内にはピアノブースがたくさんあり、24時間いつでもピアノを弾くことができました。お部屋にはキッチンが無いので食事は全てホテルのレストランで提供され、いつでも食べ放題でした。また、私が何かレッスンを希望するなら先生を付けてくれる…最高の環境と待遇でした。そこで私は基本からと思い、早々に楽典の先生を手配してもらいましたが苦手でした。歌のレッスンもお願いしたけど「身体で唄う」との教育方針らしく、踊りながら歌うのはちょっと…どちらも直ぐに辞めてしまいました。この時に勉強してお

けば良かったなあ。私の合歓での待遇はとても恵まれたほうですが、他にも各支店や制作室にも勉強中アーティストがいて、時間をかけて開花した人もいました(先方の了解なしにアーティスト名を出せないの、ごめんなさい)。さて合歓の郷の説明ばかりになってしまいましたが、お伝えしたかったのはヤマハを含め、当時の音楽業界には余力と活気があったのでアーティストを育てていた時代だったという事です。私のように未完成でも、明日を楽しみに思えるアーティストがたくさんいたんです。いいよね!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される